

社会資本総合整備計画(第4回変更)

せんがんざん まえしま ち く そうごうかい はつけいかく
【千巖山・前島地区総合開発計画】

平成30年5月
熊本県上天草市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成30年5月1日

計画の名称	千歳山・前島地区総合開発計画							重点配分対象の該当	○																							
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)							交付対象	熊本県上天草市																							
計画の目標	<p>「上天草千歳山・前島地区総合開発計画」、「上天草市グランドデザイン」に基づく地域活性化に寄与する拠点づくりをテーマに、本計画では以下の目標を掲げ、前島地区においては上天草市の海の玄関口としてふさわしい新たな顔づくりを、千歳山周辺地域については、合津港周辺から国指定文化財・名勝として天草五橋や天草松島の絶景が眺められる景勝地としてふさわしい整備を行い、観光客と地域住民との交流を促し、観光のまちづくりを目指す。</p> <p>○前島エリア 上天草市の海の玄関口としての拠点づくり、自然を楽しめる空間づくりと併せて、観光の拠点として集客を図るための物販施設を整備するとともに、交通結節点の改善として、国道266号線の交通渋滞を緩和させるため、前島地区に自家用車を置き、公共交通機関及びサイクリングで市内観光を周遊するパークアンドライド機能を整備する。加えて、観光拠点に相応しい交通網の整備として交差点改良を行う。</p> <p>○千歳山エリア 景勝地にふさわしい施設のユニバーサルデザイン化、資源の魅力を一層向上させる施設の連携、サインを含めた道路網の整備により地域の活性化を目指す。</p>																															
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 上天草における年間観光入込客数を年間137.0万人(H24)から150.7万人(H30)へ10.0%の増を目指す。 滞在型観光施設の増加による城内宿泊者について、年間23.6万人(H24)から26.0万人(H30)の10.0%の増加を目指す。 アンケート調査による「地区周辺交通についての安全・安心・快適性に関する満足度」を35.7%(H25)から39.3%(H30)へ10.0%の増加を目指す。 																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H28末)</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上天草市における観光拠点として、観光入込客数の増加を拠点の認知度向上の度合いと見る。</td> <td>137.0万人</td> <td>145.2万人</td> <td>150.7万人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>滞在型観光施設の増加による城内宿泊者数の増加が見込めるものとして設定。</td> <td>23.6万人</td> <td>25.0万人</td> <td>26.6万人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開発により域内の交通に支障を及ぼさない、開発を促進することにより満足度の向上が得られるものとして指標に設定。</td> <td>35.7%</td> <td>37.8%</td> <td>39.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	上天草市における観光拠点として、観光入込客数の増加を拠点の認知度向上の度合いと見る。	137.0万人	145.2万人	150.7万人		滞在型観光施設の増加による城内宿泊者数の増加が見込めるものとして設定。	23.6万人	25.0万人	26.6万人		開発により域内の交通に支障を及ぼさない、開発を促進することにより満足度の向上が得られるものとして指標に設定。	35.7%	37.8%	39.3%	
定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)																													
上天草市における観光拠点として、観光入込客数の増加を拠点の認知度向上の度合いと見る。	137.0万人	145.2万人	150.7万人																													
滞在型観光施設の増加による城内宿泊者数の増加が見込めるものとして設定。	23.6万人	25.0万人	26.6万人																													
開発により域内の交通に支障を及ぼさない、開発を促進することにより満足度の向上が得られるものとして指標に設定。	35.7%	37.8%	39.3%																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	897百万円	A	718百万円	B	73百万円	C	106百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	11.8%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
A-1	都市再生	一般	上天草市	直接	熊本県上天草市	千歳山・前島地区総合開発事業	前島観光交流拠点施設等627㎡等	上天草市	H26	H27	H28	H29	H30	718.0	市	無																
									合計					718.0																		
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考															
B-1	道路	一般	上天草市	直接	熊本県上天草市	国道266号線前島交差点改修整備	L=174.0m	上天草市	H26	H27	H28	H29	H30	18.0	市	無																
B-2	道路	一般	上天草市	直接	熊本県上天草市	市道前島2号線道路改修整備	L=150.0m	上天草市	H26	H27	H28	H29	H30	55.0	市	無																
									合計					73.0																		
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
C-1	施設整備	一般	上天草市	直接	熊本県上天草市	観光活性化拠点施設(用地取得)	用地取得1,304㎡	上天草市	H26	H27	H28	H29	H30	36.0																		
C-2	施設整備	一般	上天草市	直接	熊本県上天草市	観光活性化拠点施設及び駐車場整備	観光活性化拠点施設593㎡、駐車場整備1,473㎡	上天草市	H26	H27	H28	H29	H30	70.0																		
									合計					106.0																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
C-1	A-1、B-1、B-2と一体的に整備することにより、集客力を高め観光客の滞在時間の長期化を図ることによって、地域住民との交流の機会を創出し、観光のまちづくりに向けた効果をさらに発揮させる。																															
C-2	A-1、B-1、B-2と一体的に整備することにより、集客力を高め観光客の滞在時間の長期化を図ることによって、地域住民との交流の機会を創出し、観光のまちづくりに向けた効果をさらに発揮させる。																															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-D1	〇〇事業(1-〇〇)に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。														

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	145.5	62.5	12.4	115.2	51.4
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
交付額 (c=a+b)	145.5	62.5	12.4	115.2	51.4
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	16.0	3.9	114.8
支払済額 (e)	145.5	46.5	24.5	4.3	
翌年度繰越額 (f)	0.0	16.0	3.9	114.8	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	16.0	0.0	82.2	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	166.2
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	25.6%	0.0%	69.0%	100.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由		用地買収の交渉において発生した相続問題により、用地取得が遅延したため		建築工事の入札において、3回の入札不調が発生したことにより、未着手となったため	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

